

1 スローガン



《設定理由》

山形十中には、伝統として受け継がれてきた「愛と創造」の精神があります。「愛と創造」とは、「自分を大切にし、思いやりをもって人とかかわること」と「高い目標を掲げて取り組み、努力して困難を克服すること」を表します。この精神を心の拠り所として、これまでの先輩方は生徒会活動を展開してきてくださいました。

また、昨年度の先輩方は、『協積～つなげよう十中生の「絆」～』のスローガンのもと、これまでの先輩方が生徒会活動で成し遂げてきたことの上に、自分自身の力・学級の力・学年の力を合わせて活動に取り組む十中生徒会の新たな姿を私達に示してくださいました。

今年度は、これまで創り上げてきた「絆」や「自治力」を土台にしながら、たとえコロナ禍で先が見えない不安定な状況が続いたとしても、自分たちにできることを見つけ、仲間と協力し、心を開き合って活動を進めていく、そして新たな十中生徒会を創るために挑戦していく（＝前に進む）ことが最も大切なことであり必要な課題だと考えました。「心を開き合う」とは、自分の視野を広げ、新たな行動を起こしたり、相手を受け入れたりすることを意味します。互いに心を開き合うことで、全員でさらに良い道へ進んでいくことを目指していきます。

2 重点目標と活動方針

(1) 重点目標

〈気づく力〉と〈応える力〉で、活気あふれる十中を創る

〈気づく力〉…心を開き、自分からできることに気づいて行動する力。

〈応える力〉…心を開き、相手からの声や動きに応える力。

(2) 活動方針

① 仲間どうしのあいさつで互いの心を開き合う

これまでも、生活委員や応援リーダーの登校時のあいさつ運動や、文芸委員会による授業前後のあいさつ点検活動など、明るいあいさつができる十中生を目指してきました。その一方で、クラス内で交わされるあいさつの声が少ない、親しい人しかあいさつを交わさないなどの課題点が挙げられました。そこで今年度は、これまでの「自分から進んであいさつをする」という姿勢を土台にしながら、生徒どうしで気持ちのよいあいさつを自然と交わせるようになることを目指し、生徒会・各委員会・学年生徒会が連携を図って新たなあいさつ運動に取り組んでいきます。

- ……主な活動内容
- ◆【朝のあいさつ運動】の継続
 - ◆各委員会によるあいさつ運動
 - ◆各学年・各クラスが目指す「あいさつ」行動宣言

② 委員会活動の充実

各委員が委員会で与えられた仕事をするのは当たり前ですが、学級における各委員の取り組みの甘さ、リードが弱いとの反省が挙げられていました。そこで、これまで以上に、執行部と全校生徒が双方向のやり取りをして、自治力をさらに高められるよう、クラスの各委員が、常時活動のみならず、できる仕事に気づいて行動する、そして、各委員の声や動きに学級全体が応えるような集団を目指していきます。

- ……主な活動内容
- ◆各委員会における活動内容の具体化
 - ◆各クラスにおける専門委員会の報告（振り返りを含む）の時間確保
 - ◆執行部会・専門委員会・学年生徒会での話し合いの充実
 - ◆「生徒会便り」・「もしも BOX（意見箱）」活用の工夫

③ 奉仕・ボランティア活動の充実

十中の伝統である「黙々清掃」「アル3 days」「地域ボランティア活動」の取り組み向上を目指していきます。「やらされているからやる」のではなく、自分がやるべきことやできることに気づいて行動すること、またそうした力が発揮されるような活動の企画運営を目指していきます。また、普段の清掃やボランティア活動においても、美化委員会やJRC委員会の声にしっかりと応えながら、日常生活の中で奉仕の心をつないでいきます。

- ……主な活動内容
- ◆「黙々清掃」の充実（美化委員会活動内容を参照）
 - ◆「アル3 days」の充実（JRC委員会活動内容を参照）
 - ◆「カンバッチプロジェクト」
 - ◆地域ボランティア活動への参加

活動構想図

